

きもつき119

もういいかい (2014年度全国統一防火標語)
火を消すまでは **まあだだよ**



平成26年10月

第85号

平成26年度鹿児島県消防操法大会
写真(ポンプ車の部:輝北町市成分団・優勝)
(小型ポンプの部:南大隅町大中尾分団・第3位)

管内の人口

145,379人 平成26年9月1日(現在)

男	女	世帯数
68,925	76,454	69,793

編集・発行 大隅肝属地区消防組合
TEL 0994-43-1188

HP(<http://www.fd-kimotsuki.jp/>)
「きもつきしょうぼう」入力をクリック



ホームページの
QRコードを準備しました



秋の全国火災予防運動が実施されます



毎年11月9日から11月15日まで

これから空気が乾燥し火災が発生しやすい季節が来ます。そこで全国一斉に次の目的で火災予防運動が実施されます。

- ①住宅防火対策の推進
- ②放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- ③特定防火対象物等における防火安全対策

この運動に伴い、各地域で訓練が計画されており、サイレンが吹鳴されます。

「大切な命と財産」を守る有効な手段とは？

それは「住宅用火災警報器」の設置です！

火事の件数は人が起きている時間帯が多いのですが、就寝中に多くの人が亡くなっています。

そこで火事による死者を減らすため、一般家庭の就寝室等に対して、住宅用火災警報器を付けるよう義務化されました。（平成16年6月の消防法改正）

- ・まだ設置されていない住宅は、早急に設置をしてください。
- ・すでに設置がお済みの住宅は、維持管理に努めてください。

※詳しくは、お近くの消防署にお問い合わせいただくかホームページ（表紙右下）をご覧ください。



「多数の人が集合する催し」をする主催者へ



全国一斉の「火災予防条例」改正です

ご注意ください

京都府福知山市の花火大会で多くの人が死傷したことを受けて全国一斉で火災予防条例が改正されました。

改正の概要

祭礼、縁日、花火大会、展示会その他の多数の者の集合する催しは、次のような準備や届出が必要です。

- ・消火器を火気器具の近くに準備してください。
- ・「露店等の開設届出書」（2部）をその会場を管轄する消防署に届出てください。（例えば、鹿屋市串良町での催しであれば、管轄の東部消防署へ届出てください。）

※ご不明な点や詳しいこと、届出書については、お近くの消防署かホームページ（表紙右下）をご覧ください。



知っていますか?表示制度



今年の8月から始まった、ホテル・旅館等に対する表示制度、皆さんご存知ですか？
新人の消太くんが、先輩の消子さんに、表示制度について質問しています。



建物の防火安全情報 表示制度



Q1 消子先輩、今年から始まった表示制度って、どんな制度なんですか？

A1 あれ？消太くんいつになく勉強熱心じゃない？
この制度はね、ホテルや旅館などの関係者からの申請をうけて、消防署員が防火基準や建築構造などの審査をして、基準を満たしていた場合に、消防署から表示マークを交付する制度よ。



Q2 そうなんですか。ところでこの制度、目的はどこにあるんですか？

A2 消防法令を守っているが、建築構造は基準を満たしているがってことが利用者にわかれば、より安全なホテルや旅館を選べるでしょ。



Q3 自分が泊まるホテルや旅館を選ぶ参考になりますね。でも、遠くから旅行で来た利用者はホテルに入らなきゃ表示マークがあるかどうかってわからないじゃないですか？

A3 いいところに気がついたわね！この制度では、そのホテルや旅館のホームページに表示マークを掲載してもよいことになっているのよ。
管轄の消防本部や、泊まろうとしているホテルや旅館のホームページをのぞいてみるというでしょうね。



なるほど！ホテルや旅館の安全にかかわる情報を、利用者に広く知らせるための制度なんですか！

私たち消防音楽隊は、消防関係団体等の諸行事がある時に演奏活動を行っています。
一市四町のいろいろな場所で、演奏活動しておりますので、お近くで演奏があるときは、足をお運びくださり、応援を宜しくお願いします。

演奏活動について

大隅肝属地区消防組合消防音楽隊が発足してから三十五年目を迎えます。
ほとんどの隊員が初心者で、楽譜すら読めない状態からのスタートでしたが、毎月の合同練習や、休みの日に自主練習を行い、様々な楽曲を演奏できるようになりました。
音楽を通じて皆様との絆を深め、災害の少ない安心、安全な地域を築くために、消防・救急・救助業務のかたわら、これからも広報活動に励んでいきます。

消防音楽隊



《鹿屋夏祭りパレード2014》



《毎月の合同練習》



海難事故防止



毎年、海難事故で尊い命が失われています。海難事故を起こさないためには、「海に落ちない」・「海に落ちてでも助かる」の2つの備えをすることです。この備えに対して、真剣に考え日頃から心がけているかどうかで万が一の時、つまり生死を分けることと繋がると言っても過言ではないでしょう。

自分の身は自分で守る！！海難事故に遭わないためにはこの考え方が鉄則です。

楽しい釣りのはずが・・・不幸な結果にならないために！



未然に事故を防ぐ！

- ・釣り場の気象状況を確認しておく。
- ・疲労、睡眠不足など体調が優れない時は出かけること。
- ・足元が滑らないように、滑り止めがついた靴を用意すること。足場が悪いところにはいかない。
- ・子供を連れて釣りに出かけた場合は、子供から目を離さないこと。

万が一に備える！

- ・必ずライフジャケット(救命胴衣)を着用すること。股ヒモはしっかり締めましょう。
- ・服装は明るく目立つ色にしておくことで、万が一海に落ちてでも発見されやすいようにする。
- ・携帯電話は必ず防水パックに入れておく。
- ・1人では行かず、必ず2人以上で行く。
- ・釣りに出かける前に、必ず家族や知り合いに行き先を知らせておく。
- ・万が一転落した場合、自力で上げられる場所があるかどうか、助かる方法を考えておく。

自分たちのまちは自分たちで守る！



(東串良町役所地区での訓練の様子 平成26年8月24日)

大規模な災害の発生直後では、消防や警察など公的機関の行う救助活動には限界があります。

そのため、身近な地域社会で結束して助け合い、災害に対処することが大切です。消防署では、消火や応急手当などを指導しています。訓練の依頼等は最寄りの消防署までお問い合わせ下さい。

平成26年上半期管内出火原因ワースト3



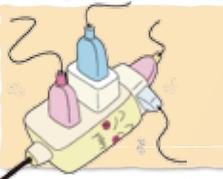
1位 たき火

- ・周りに燃えやすい物がある場所を避ける。
- ・風の強い日には、たき火をしない。



2位 こんろ (天ぷら鍋)

- ・こんろから離れない。
- ・付近に燃えやすい物を置かない。



3位 配線

- ・たこ足配線をしない。
- ・プラグを定期的に掃除する。

【ホームページのご案内】



大崎計画地区消防組合は昭和52年4月1日に発足しました。
西瀬市・堀江町・南大崎町・肝付町・東平良町の1町4町で構成されています。

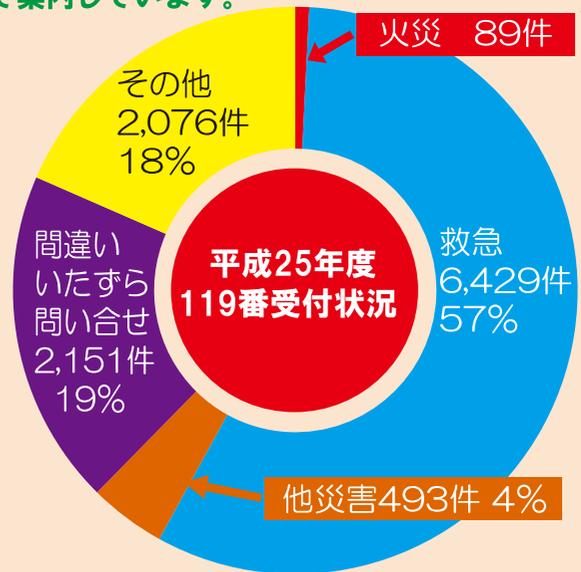
当消防組合ではホームページを開設しており、消防組合概況、各種様式、管内のAEDマップ、採用試験等のお知らせを掲載しています。

是非、ご覧ください。

アクセス先：<http://www.fd-kimotsuki.jp/>

平成25年度の119番通報は、11,238件でした。間違い、いたずら、問い合わせが全体の19%を占めており、特に携帯電話（スマートフォン）からの間違い通報が多発しています。携帯電話の取り扱いについては、十分注意しましょう。

【夜間、休日の病院案内及び火災発生等については、音声ガイダンス（43-0119）で案内しています。】



最優秀賞
おぐら病院
訪問看護ステーションことぶき
優秀賞
寿分団デコボコフレンドズ改

中央消防署では救急医療週間を前に、一人でも多くの方々に応急手当の必要性や重要性に関心をもっていただくために、八月三十一日(日)プラッセだいわ鹿屋店で、第二十回救急フェアを開催しました。

消防車両や救急資機材の展示、心肺蘇生法とAEDの体験コーナーなどがあり多くの家族連れなどで賑わいました。応急手当コンテストには九組、通報・心肺蘇生法・AED取扱い等を実施し迅速確実な応急手当の技術を競い合いました。参加者は、勤務後など昼夜を問わず、練習に励み、コンテスト当日は、的確な心肺蘇生法を行っていました。結果は以下のとおりです。



第二十回
救急フェア開催



管理者就任挨拶



大隅肝属地区消防組合
管理者 中西 茂

平成二十六年二月に大隅肝属地区消防組合の管理者に就任いたしました。よろしくお願いたします。また、本消防組合の運営につきましては平素から地域住民の皆様にご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、本消防組合管内は、豊かな自然に恵まれた風光明媚な環境にありますが、台風の常襲地域でもあり、集中豪雨の発生や、南海トラフ大地震による被害も懸念されております。加えて、当地域は過疎化・少子高齢化が著しく、救急搬送の件数は増加の一途を辿っているのが現状であり、このような中、各種災害への対応、救急業務の高度化の推進等が不可欠であります。地域住民の生命、身体、財産を守るという使命を胸に刻み、時代の変化に的確に対応しながら、消防体制の充実・強化に取り組んでまいります。皆様方と共に安心安全な町づくりを目指してまいります。ご協力をお願いします。就任の挨拶いたします。

消防長就任挨拶



第18代消防長
小竹 一郎

平成二十六年年度の人事異動により四月一日付で大隅肝属地区消防組合第十八代消防長に就任いたしました。よろしくお願いたします。さて、今日の消防を取り巻く環境は、甚大な津波被害と深刻な原子力災害をもたらした東日本大震災をはじめとし、化学工場の大規模火災や局地的なゲリラ豪雨など、災害事象は複雑化大規模化してきております。管内におきましても、少子高齢化が進行し救急件数は増加の一途を辿り、加えて南海トラフ巨大地震発生による、建物崩壊や津波の被害も懸念されます。このような厳しい現状の中、私たちが消防は管内住民の皆様の負託にこたえるため、日夜心身を鍛え、消防技術と知識の研鑽に励み、職員一丸となって皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域に密着した消防行政の推進に取り組んでまいります。皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶いたします。



新消防職員紹介

今年度、大隅肝属地区消防組合に**七人の消防士**が仲間入りしました。三人は消防学校へ入校し、四人は現場で毎日頑張っています。(年齢については採用時年齢)



上萩 健太
(23歳)

鹿屋市新生町出身

消防士の責任ある仕事に自覚と誇りを持ち、確実な知識とスキルを身に付け、地域の皆さんに信頼してもらえようという消防士になりたいと思います。



木佐貫 祐
(23歳)

鹿屋市下祇川町出身

過酷な現場やつらい状況から決して逃げださず、また、消防士として地元へ多くの恩返しをするために日々努力し、頑張っていくたいと思います。



榎本 亮
(23歳)

鹿屋市田崎町出身

消防士として、日々責任ある行動を心がけ、目の前のことに満足せず目標を高く持ち、住民の皆様から信頼される存在になれるように日々努力していきます。



窪田 雄介
(18歳)

肝属郡南大隅町出身

年齢も一番若くまだまだ学ぶことがたくさんありますが、少しでも早く地元の方々の期待に応えられる消防士になれるように頑張ります。



古里 祥吾
(19歳)

鹿屋市白水町出身

今まで多くの方々から支えてもらい感謝することばかりでした。これからは住民の皆さんの安心・安全を守り、誰からも頼られる消防士になれるように日々努力します。



山並 晃輔
(21歳)

鹿屋市下祇川町出身

日頃からいつ何が起きても臨機応変に対応できる準備、心構えを持つ先輩方を見習い、私も住民の皆様方の生命、身体、財産を守る一人前の消防士に成長できるように頑張ります。



甫村 亮
(21歳)

肝属郡東串良町出身

消防活動上欠かすことのできない、安全性、確実性、迅速性をしっかりと身に付け、どんな現場の状況においても冷静な判断力、決断力を備え持った地域の方に信頼してもらえよう消防士を目指します。